

<概要>

講義名 : 経済事情E 市場経済と消費者問題 (第10回)

テーマ : 企業と生活者をつなぐ

講師 : 日本ヒープ協議会 元芳晃子
(イカリ消毒株式会社)

日時 : 2025年6月17日(火) 15:10~16:50

場所 : 関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

参加者 : 関西学院大学 大学生 約70名

依頼者 : 関西学院大学 経済学部 教授 田中敦先生

<講義内容>

1. 日本ヒープ協議会について

- ・HEIBの始まり
- ・生活者と企業のギャップ
- ・消費者市民社会とは

2. イカリ消毒ってどんな会社？

3. イカリ消毒のCSR活動

「CSRの側面から企業を知り、生まれる新たなコミュニケーション」

- ・CSRとは
- ・活動① さくらふるさと街づくり運動
- ・活動② 教育支援



講義の様子



聴講生の様子

<講義や聴講生の様子>

日本ヒープ協議会の取り組みと弊社のCSR活動をご紹介しました。

CSRに取り組む背景や企業の社会的責任に焦点を当て、企業が生活者に向けて発信しているメッセージや、それにより生まれるコミュニケーションについて、具体的な事例を交えながらお話をしました。

学生の皆さまからは「CSRの意義について消費者と企業の双方の視点から考えることができた」や「消費者と直接関わりながら情報を発信することに非常に大きな意味があると感じた」などの感想をいただきました。

<講師よりひとこと>

本講義は今年度が最後とのことで、担当させていただき大変光栄に思います。皆さまの消費者行動に少しでもお役に立てれば幸いです。

(イカリ消毒株式会社 元芳晃子)